

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
 2022年度事業報告（案）
 （2022年4月1日～2023年3月31日）

【概 括】

I 組織

2022年度会員目標を155,000人とし、会員総数は153,938人（対前年度比・約3%増）※グラフ1となり、目標会員数には届かなかった。その要因として、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響で2021年度末に2022年度新規加入検討者向けに施設や特別支援学校等への説明会を行うことが困難であったこととともに死亡脱会者が増えていることがあげられる。

Cプラン加入率は年々増加しており、若年層の会員増に寄与できていることがうかがえる。2018年度は年度全会員数の約3%、2019年度は約5%、2020年度は約7%、2021年度は8%、2022年度は9%と徐々に増えていることがわかる。

また、2022年4月からおかやまサポート協会が補償開始となり、2022年度は、約2,700人の会員数となった。

グラフ1 会員数の推移

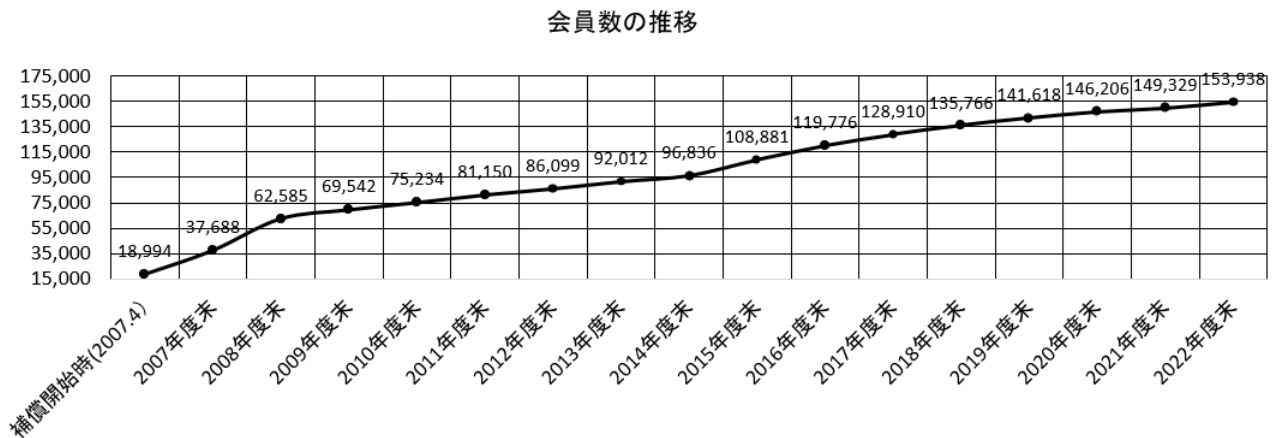


表1 ブロック別会員数の推移

ブロック名	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
北海道ブロック		389	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,276	4,766	5,164	5,587	5,884	6,258	6,498	6,637
東北ブロック	2,821	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	11,174	11,985	12,591	13,444	14,151	14,991	15,571	15,951
関東甲越ブロック	16,173	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	41,162	43,303	45,179	46,775	48,027	48,944	49,858	50,353
中部ブロック		8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	16,523	17,445	19,083	20,172	21,298	22,356	22,922	23,381
近畿・中国・四国ブロック			5,917	7,311	8,426	11,079	11,864	13,067	13,940	19,299	24,758	28,266	30,389	31,577	32,407	32,908	35,823
九州ブロック		4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,030	16,447	17,519	18,627	19,399	20,681	21,250	21,572	21,793
合計	18,994	37,688	62,585	69,542	75,234	81,150	86,099	92,012	96,836	108,881	119,776	128,910	135,766	141,618	146,206	149,329	153,938

Ⅱ 事業

1 サポート協会における事業の実施

2022年度もコロナ禍における事業の実施となった。

2022年度の事業についての正確な数字は、2023年度のブロック会議にて報告する。

2022年度は7月前後にオミクロン株の大流行もあり、なかなか会場実施ができない状況であったが、2022年末から徐々に感染者数も減ってきたこと、政府から2023年5月に感染対策を緩和することが発表されたことなどを受けて、徐々に新型コロナ拡大前の事業実施方法に戻りつつあるようだ。また、コロナ禍によりオンライン機器を持つサポート協会が増え、オンラインでの研修や会議ができるようになったため、ハイブリット開催や動画配信が可能となった。今後は会場参加が困難な方のために、会場での開催とともにオンラインや動画配信を利用した研修・講演や会議が増えてくるであろう。

2 ブロック会議

2022年度は、6ブロックで開催した。北海道、中部及び近畿・中国・四国ブロック会議は会場、九州はハイブリット、東北及び関東甲越はオンラインでの開催となった。

コロナ禍になってから2年以上たち、オンラインやハイブリットでの会議開催も増えているためか、どの会議も滞りなく終了できた。北海道は2021年度にハイブリット開催でオンラインとともに会場も利用していたが、久しぶりに会場での開催を行った、中部、近畿中四国、九州の主催県（静岡、山口、とびうめ）では、事前準備とともに感染対策等のご苦勞があったのではないかと推察される。

なお、近畿中国四国ブロック会議は、来年度から近畿と中四国ブロック別れての開催となるため、来年度からのブロック会議開催県及び理事をそれぞれで決めた。

3 啓発事業

(1) 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行

7月1日付で発行し、46サポート協会及びジェイアイシーグループ等に171,650部を送付した。

なお、各サポート協会に当会広報紙発送費用助成として2,182,479円拠出した。

(2) 広告掲載

ア 集会

① 日本知的障害者福祉協会（大会中止のため2022年度は大会協賛無）

「全国知的障害福祉関係職員研究大会」→ 中止

② 全国手をつなぐ育成会連合会

「第7回全国大会」

「事業所協議会全国研修大会」

イ 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」（年間）
 - ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」（年間）
- ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

(3) ホームページ

「お知らせ」ページにて、主に国の障害者関連の情報等を掲載した。

「サポート協会及びブロックの活動」のページには、2022年度は各サポート協会が発行している広報紙を掲載した。しかし、2022年度は9サポート協会の掲載にとどまった。

2022年度は、ホームページリニューアル及びGoogle 広告を予算化していたが、実績となっていない。2022年度初めに新規加入検討者のために検索エンジンを使用し、当会のホームページができるだけ上位に表示されるように試行でGoogle 広告を3か月ほど掲載した。実績次第では本稼働の予定であったが、3か月間の試行期間の検証で費用対効果が期待できなかったため、広告掲載を行う前に補償制度ページの改訂が必要であるという判断の元、いったん広告を取下げ、補償制度ページのリニューアルを行うこととしており、2023年度の初めには再稼働の見込み。また、このことに伴い、他ページの改定を行うことについても遅くなってしまったが、2023年度早々にもリニューアル予定である。

4 アールブリュット展

24サポート協会から644作品の応募があり、その中から112作品が当会のアールブリュット展に出品され、当会ホームページの「お知らせ」に掲載した。

2020年度や2021年度同様、各サポート協会の理事や事務局員（5名以内）1名あたり5作品まで投票、その結果を各サポート協会から当会まで送ってもらい、得票数が多かった3作品（秋田県・やまゆり・大阪）を入賞作品とした。

入賞者には当会から賞状とともに、AIG及びJICより副賞が授与された。

5 当会主催事業

(1) カレンダー作製（試行事業）

アールブリュット展で当会に出品された作品を掲載した2023年B3版カレンダーを約5,500部作製し、各サポート協会、作者、関係者に配布した。また、送付に際しての助成を行い1,236,435円拠出した。

(2) オンラインセミナーの実施

試行事業として、当会主催で会員等に向け、JICの協力のもと、2022年11月24日に「病気予防&事故防止」セミナーを行った。

情宣方法、情宣期間が短かったなどの理由により、募集人員より大幅に少ない参加者しか集めることができなかったが、参加した方からは、大変好評で2023年度も同様のセミナー開催を検討、開催する。

6 「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策

（三者プロジェクト—拡大MVP委員会、三者会議—の実施）

(1) 拡大MVP委員会

2022年度は、ハイブリッドでの開催となった。AIGおよびJICの担当者から2021年度保険利用率の結果や新型コロナウイルス感染による請求状況、「生活サポート総合補償制度」の課題について説明があった。

(2) 三者会議

7月から9月にかけて各サポート協会、担当のAIG、JICの三者で行い、終了後のアンケート結果をブロック会議資料として配布した。

7 事業助成

2022年度は17サポート協会から申請があり、助成の総額は、1,700,000円となった。

共催事業も助成対象となっているが、主催でないと対象にならないと申請していなかったサポート協会があることがわかり、2023年度は共催も対象になることを各サポート協会に知っていただく必要がある。

8 弁護士の委託

当会を通じ2件の依頼を受けた。詳細については、補足資料のとおりである。

9 小規模サポート協会への助成

2022年度は、9月末時点で会員数1,000人未満のサポート協会に助成を行った。2021年度より3サポート協会減り、4サポート協会に331,100円を助成した。

10 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」改め「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」への参加

2021年に東京オリンピック・パラリンピックが終了したことから「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」は、名称を変更し「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」として新たに活動を開始した。当会も引き続き参画することとなった。主にオンラインで会議を実施しており、当会も事務局長が参加した。

Ⅲ その他

1 特別支援金等の給付

2020年度、2021年度と同様にコロナ禍における各サポート協会の業務継続に対し、会員数に関係なく一律10万円を12月20日振り込みにて拠出した。

2 理事長諮問「全サポの在り方緊急検討会」の実施

当会は2006年11月の発足から16年が経過し、各サポート協会の関係者にこれまでの歴史を知らない方が増えてきている。当会役員も世代交代の時代になってき

ている。理事長よりできるだけスピード感をもって協議を行いたいということで、委員会ではなく理事長諮問会議という形で10人の構成員（書記の事務局員を除く）で10月から2月まで計10回の協議を行った。協議結果については、3月の第2回理事会にて報告を行った。

【会議実施等詳細】

1 (1) 2022年度定時社員総会（ハイブリッド方式）

日 時：2022年5月27日（金）12：30～14：30

場 所：大田区産業プラザPIO イベントホール

議案事項：・2022年度事業報告及び決算報告・監査報告 他

2 理事会

	日時	場所	内容
第1回	2022年4月20日 (水) 13:30～16:30	大田区産業プラザ 特別会議室 オンライン (ZOOM)	・2021年度事業報告・決算報告(案) ・2022年度定時社員総会 他
第2回	2023年3月7日 (火) 13:00～ 16:30	大田区産業プラザ 特別会議室 オンライン (ZOOM)	・2022年度事業の評価反省 ・2023年度事業計画 他

3 三役会

	日時	場所	内容
第1回	2022年4月6日(水) 13:30～17:00	事務局事務所 オンライン (ZOOM)	・2021年度事業報告・決算報告(案) ・近畿・中国四国ブロック 理事1名推薦者(案) 他
第2回	2022年7月5日(水) 13:30～16:30	新宿NSビル会議室 オンライン (ZOOM)	・2022年度総会報告及び総会収支報告 ・オンラインセミナー実施案 他
臨時	2022年9月1日(水) 14:00～15:30	事務局事務所 オンライン (ZOOM)	・2022年度ブロック会議について ・相談事業について 他
第3回	2022年12月6日(水) 10:00～12:30	新宿NSビル AIG会議室	・ブロック会議報告 ・理事長緊急諮問会議概要 他
第4回	2023年2月2日(木) 13:30～16:30	新宿NSビル AIG会議室	・2022年度事業等の評価・反省 ・2023年度事業計画・予算(案) 他

4 拡大MVP委員会 MVP委員会

拡大MVP委員会(兼三役会)

日時：2022年7月5日(水) 10：00～12：00

場所：新宿NSビル会議室・オンライン (ZOOM)

- 内容：・三者プロジェクトについて
- ・三者会議実施について

第1回MVP委員会

- 日時：2022年12月5日（月）14：30～16：00
- 場所：全国サポート協会 事務所・オンライン（ZOOM）
- 内容：・事業助成について

第2回MVP委員会

- 日時：2023年2月10日（金）14：00～15：00
- 場所：全国サポート協会 事務所・オンライン（ZOOM）
- 内容：・事業助成について

5 ブロック会議

・第11回北海道ブロック会議

- 2022年10月21日（金） 15：00～17：00
- 北海道（札幌市） 道民活動センター かでる2.7

・第15回東北ブロック会議

- 2022年10月14日（金） 13：30～15：40
- 宮城県 オンライン

・第16回関東甲越ブロック会議

- 2022年10月7日（金） 13：30～16：00
- 千葉県（なのはな） オンライン

・第15回中部ブロック会議

- 2022年11月2日（水） 13：30～17：00
- 静岡県 グランディエール ブケトーカイ

・第14回近畿・中国・四国ブロック会議

- 2022年10月27日（木） 14：00～17：00
- 山口県 かめ福オンプレス

・第15回九州ブロック会議

- 2022年11月16日（水） 14：00～17：05
- 福岡県（とびうめ） ホテルニューオオタニ博多・オンライン（ハイブリット）

6 研修会

- 日時：2022年5月27日（金）15：00～16：00
- 場所：大田区産業プラザPIO イベントホール
- 内容：改定版 冊子「病気予防&事故防止」
- 講師 JIC 高橋顧問

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2022年度収支計算書(案) ー運営の部ー
 2022年4月1日から2023年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	2022年度決算額	2022年度予算額	予算額増減	摘要
運営費収入		31,497,900	31,790,100	△ 292,200	
	入会金	812,400	930,000	△ 117,600	300 × 2,708人 = 812,400
	年会費	30,685,500	30,860,100	△ 174,600	200 × 152,919人 = 30,583,800 100 × 1,017人 = 101,700 計 30,685,500
雑収入	雑収入	39	1,000	△ 961	普通預金利息
収入合計		31,497,939	31,791,100	△ 293,161	

支出

大科目	中科目	2022年度決算額	2022年度予算額	予算額増減	摘要
事業費		10,933,151	16,753,000	△ 5,819,849	
	入会金返金	600	3,000	△ 2,400	入会金返金
	年会費返金	19,100	20,000	△ 900	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事業助成	1,700,000	2,620,000	△ 920,000	サポート協会主催事業助成
	組織強化費	331,100	540,000	△ 208,900	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	1,453,371	2,900,000	△ 1,446,629	広告掲載、HP維持等
	研修費	0	0	0	
	ブロック助成金	684,130	1,000,000	△ 315,870	ブロック活動助成金(6ブロック)
	MVP委員会	295,063	1,000,000	△ 704,937	委員会旅費等
	就労支援	600,000	600,000	0	6ブロック弁護士委託費用
	当会事業費	2,823,417	4,000,000	△ 1,176,583	カレンダー作成費 送料 ダンボール代 発送補助金 オンラインセミナー
	広報紙発送助成	2,182,479	2,660,000	△ 477,521	広報紙発送費用補助
支払手数料	843,891	1,410,000	△ 566,109	振込手数料等	
管理費		17,702,067	21,218,000	△ 3,515,933	
	人件費	5,294,930	5,419,000	△ 124,070	職員2名分、事務局長社会保険手当 通勤手当
	法定福利費	496,113	510,000	△ 13,887	社会保険料等
	福利厚生費	135,460	160,000	△ 24,540	購読料、健康診断等
	総会費	868,340	2,700,000	△ 1,831,660	総会(旅費、会場費)等
	会議費	2,276,653	3,000,000	△ 723,347	理事会、三役会、諮問会議(会場、旅費)等
	旅費交通費	588,430	1,200,000	△ 611,570	ブロック会議等
	賃借料	3,585,120	3,586,000	△ 880	家賃、更新手数料他
	水道光熱費	130,930	120,000	10,930	水道、電気料
	通信運搬費	385,457	330,000	55,457	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	17,000	17,000	0	
	リース料	435,864	460,000	△ 24,136	複合機、シュレッダーリース料
	印刷製本費	1,265,061	1,286,000	△ 20,939	広報紙作成費用等
	消耗品費	504,879	600,000	△ 95,121	複合機使用料、イラストレータ/ZOOM年間更新費、事務用品費等
	会員管理費	401,550	410,000	△ 8,450	会員管理費、AIGFへの送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	80,600	110,000	△ 29,400	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	35,680	100,000	△ 64,320	慶弔・贈答品等
	引当金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑費	0	10,000	△ 10,000	雑費
予備費	(繰越金より支出)	4,600,000	5,000,000	△ 400,000	
	義援金	4,600,000	5,000,000	△ 400,000	10万円特別助成
支出合計		33,235,218	42,971,000	△ 9,735,782	
収支差額(収入-支出)		△ 1,737,279	△ 11,179,900	9,442,621	
合計		31,497,939	31,791,100	△ 293,161	

繰越金

大科目	中科目	2022年度決算額	2022年度予算額	予算額増減	摘要
繰越金	前期繰越金	13,935,628	13,935,628	0	前年度繰越金
収支差額	(収入-支出)	△ 1,737,279	△ 11,179,900	△ 9,442,621	赤字(理由摘要に記載)
繰越金		12,198,349	2,755,728	△ 9,442,621	

2022年度収支計算書 ー保険料の部ー

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	2022年度決算額	2022年度予算額	予 算 額 増 減	決算摘要
収入	預り保険料収入	2,997,561,250			下記のとおり
	保険料	2,979,950,640	2,965,920,810	14,029,830	
	返戻金	17,610,610			
支出	預り保険料支出	2,997,561,250			
	保険料	2,979,950,640	2,965,920,810	14,029,830	
	返戻金	17,610,610			

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p>合計金額内訳 決算書保険料合計(153,932人分) 2,979,157,960円(153,890人分)「2022年4月から2023年1月入金までの2022年度保険料」 +792,680円(42人分)「2023年3月入金(2023年度保険料)」</p> <p>参考：「2022年度保険料合計」(153,938人分) 2,979,157,960円(153,890人分)「2022年4月から2023年1月入金までの2022年度保険料」 + 942,250円(48人分)「2022年3月入金(2022年度保険料)」 =2,980,100,210円</p>
返戻金	内訳 (2022年度返礼金一覧 参照)

2022年度収支計算書 ー懇親会の部ー

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	金 額	摘 要
収 入			131,187	
	前期繰越		131,187	2021年度繰越
支 出			550	
	支払手数料		550	
		残高証明書発行手数料		550
次期繰越金			130,637	ゆうちょ銀行：10,244円 三菱UFJ銀行：120,393円

貸借対照表

2023年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,247,611	13,976,610	△ 1,728,999
立替金	58,765	0	58,765
前払費用	5,000	0	5,000
流動資産合計	12,311,376	13,976,610	△ 1,665,234
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職金積み立て	1,110,042	990,037	120,005
定期預金	28,435,518	28,435,034	484
特定資産合計	29,545,560	29,425,071	120,489
(3) その他固定資産			
什器備品	71,735	211,029	△ 139,294
保証金	1,260,000	1,260,000	0
その他固定資産合計	1,331,735	1,471,029	△ 139,294
固定資産合計	30,877,295	30,896,100	△ 18,805
資産合計	43,188,671	44,872,710	△ 1,684,039
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受年会費	8,400	9,600	△ 1,200
預り金	104,627	31,382	73,245
流動負債合計	113,027	40,982	72,045
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,110,042	990,037	120,000
固定負債合計	1,110,042	990,037	120,000
負債合計	1,223,069	1,031,019	192,045
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(29,185,518)	(29,125,034)	(60,484)
正味財産合計	41,965,602	43,841,691	△ 1,876,089
負債及び正味財産合計	43,188,671	44,872,710	△ 1,684,039

正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	31,497,900	29,755,500	1,742,400
入会金収入	812,400	0	812,400
年会費収入	30,685,500	29,755,500	930,000
雑収入	523	496	32
受取利息	523	496	32
経常収益計	31,498,423	29,755,996	1,742,432
(2) 経常費用			
事業費	10,933,151	9,021,913	1,911,238
入会金返金	600		600
年会費返金	19,100	17,600	1,500
事業助成	1,700,000	1,371,790	328,210
組織強化費	331,100	620,100	△ 289,000
啓発宣伝費	1,453,371	812,960	640,411
研修費	0	200,000	△ 200,000
助成金	684,130	310,746	373,384
MVP委員会	295,063	77,950	217,113
就労支援	600,000	600,000	0
当会事業費	2,823,417	2,312,373	511,044
広報紙送付助成金	2,182,479	1,751,349	431,130
支払手数料	843,891	947,045	△ 103,154
管理費	17,702,067	15,195,695	2,506,372
給与手当	5,294,930	5,404,560	△ 109,630
法定福利費	496,113	490,739	5,374
福利厚生費	135,460	144,300	△ 8,840
総会費	868,340	529,931	338,409
会議費	2,276,653	593,066	1,683,587
旅費交通費	588,430	256,080	332,350
賃貸料	3,585,120	3,354,120	231,000
水道光熱費	130,930	115,568	15,362
通信運搬費	385,457	364,325	21,132
環境管理費	17,000	0	17,000
リース料	435,864	222,296	213,568
印刷製本費	1,265,061	1,155,344	109,717
消耗品費	504,879	853,316	△ 348,437
会員管理費	401,550	397,150	4,400
顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0
租税公課	80,600	81,650	△ 1,050
渉外費	35,680	33,250	2,430
引当金	120,000	120,000	0
雑費	0	0	0
予備費	4,600,000	4,510,000	90,000
義援金	4,600,000	4,510,000	90,000
減価償却費	139,294	166,121	△ 26,827
経常費用計	33,374,512	28,893,729	4,480,783
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,876,089	862,267	△ 2,738,356
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,876,089	862,267	△ 2,738,356
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,876,089	862,267	△ 2,738,356
一般正味財産期首残高	43,841,691	42,979,424	862,267
一般正味財産期末残高	41,965,602	43,841,691	△ 1,876,089
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	41,965,602	43,841,691	△ 1,876,089

財産目録

2023年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	金	額
(流動資産)	預金			12,247,611
		当座預金		10,000
		ゆうちょ銀行 00140-9-374339	10,000	
		普通預金		12,237,611
		三菱UFJ銀行 神田支店 0148931	2,229,536	
		三菱UFJ銀行 神田支店 0148944	7,565,080	
		ゆうちょ銀行 11330-15450581	2,442,995	
	立替金			58,765
	前払費用			5,000
流動資産合計				12,311,376
(固定資産)	特定資産			
	退職金積み立て 退職給付引当資産(一般)	東法連特定退職金共済会	750,000	1,110,042
	退職給付引当資産 (定期預金)	三菱UFJ銀行 神田支店0089584	360,042	
	定期預金			28,435,518
		三菱UFJ銀行 神田支店0100740	7,176,091	
		三菱UFJ銀行 神田支店0057779	16,258,408	
		三菱UFJ銀行 神田支店0100753	5,001,019	
その他固定資産	什器備品			71,735
	保証金			1,260,000
固定資産合計				30,877,295
資産合計				43,188,671
(流動負債)	前受年会費			8,400
	健康保険料		16,093	104,627
	厚生年金保険料		17,334	
	源泉所得税		15,600	
	住民税		55,600	
流動負債合計				113,027
(固定負債)	退職給付引当金			1,110,042
固定負債合計				1,110,042
負債合計				1,223,069
正味財産				41,965,602

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2023年度事業計画

【基本方針】

1 理念

Mission (ミッション・使命) =知的障害児者生活サポート

Vision (ビジョン・将来像) =全国(組織)

Passion (パッション・熱情) =協会(熱い情の協働体)

- 2 組織では、全国サポート協会と各サポート協会間の一層の連携
- 3 事業では、当会定款第2条(目的・事業)を実施・継続
- 4 AIG損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

【活動内容】

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

なお、開催方法については、会場開催のみでなく出席状況によって、オンラインやハイブリット開催も検討する。

- (1) 定時社員総会 1回
- (2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者・自閉症児者(以下「障害者」という)とその家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- ① 障害者とその家族の生活安定のための各種の事業
- ② 障害者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申
- ③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業
- ④ 社員の発展に必要な援助及び指導
- ⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国のブロックを2023年度から7ブロックに変更し、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

なお、理事会や総会と同様に新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催方法についてはオンライン開催等も検討する。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、補助金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催

し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて各ブロックの会議報告を行う。

(2) 啓発事業の実施

ア 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回
総会やアールブリュット展入賞作品や、会員へ有用な情報を発信する。
また、当会広報紙発送費用助成を行う。

イ ホームページ

サポート協会の事業を一般に広く公開する。また、社員に必要な情報を即時発信する。

2022年度実施できなかったHPリニューアルを行うとともに、新規会員獲得のため、検索エンジンで当会HPが上位に表示されるよう広告を出す。

ウ 広告掲載

(ア) 集会

① 日本知的障害者福祉協会

「全国職員研究大会」⇒ 令和5年11月16日(木)・17日(金) 山梨県

② 全国手をつなぐ育成会連合会

「全国大会」⇒ 令和6年1月27日(土)・28日(日) 愛媛県

「事業所協議会全国研修大会」⇒ 令和6年2月24日(土) 長崎県

(イ) 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

(エ) 上記以外に新規会員開拓に効果が見込める方法があれば検討する。

(3) 組織強化の実施

ア 三者プロジェクト（「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策）の実施

「生活サポート総合補償制度」の長期的安定の施策について三者（AIG 損保・JIC・全国サポート協会）で協議を行う。

(ア) 新規会員の増員

会員（加入者）の目標は、2023年度は158,000人とする。

HPや事業実施での情宣等を活用し、若年層の新規会員（加入者）の開拓を推進する。そのための施策を協議、検討する。

(イ) 制度安定のための課題改善

制度安定に向けて、保険利用率の改善やその他の課題について、三者で検証し、協議を行う。

イ サポート協会（社員）加盟の促進

未加盟残り2県（広島、島根）のサポート協会（社員）設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

すぐの加盟が困難と推測できるようであれば、該当県加盟まで該当県の方が加入できるようなしくみについて検討する。

- (4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員（加入者）の情報管理に努める。

3 小規模サポート協会への支援

小規模サポート協会<会員（加入者）数1,000人以下>へ基盤強化・拡大を図るため、支援する。

- ・支援内容 年間 会員（加入者）1人100円(200円から変更)
- ・会員（加入者）数の基準日 毎年8月31日(現在)
尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円
(1,000人を超えた年度で支援終了)

4 アールブリュット作品展

会員、非会員にかかわらず作品を募集し、応募のあった全作品を当会ホームページに掲載する。また、入賞作品を広報紙（サポ協だより）及び2024年度分のパンフレットに掲載する。

また、入賞しなかった応募作品についても、2024年カレンダーを作成し、多くの作品を掲載する。（試行事業）

5 MVP委員会の実施

- (1) 各サポート協会の主催事業支援助成について協議する。
- (2) 今後当会が実施する事業について協議する。
- (3) 拡大MVP委員会に於いては、委員は三者プロジェクトの各ブロック代表者として、AIG損保・JICとともに「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策について協議する。

6 サポート協会事業実施への助成

各サポート協会が行っている主催事業及び共催事業に対して全国サポート協会から200万円の助成を行う。2022年度に於いても、助成総額が200万円に満たなかったため、残額を付加した助成金額とする。

なお、主催事業だけでなく、共催事業においても助成可能ということを確認するため、実施要項の記載を一部変更する。

7 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推

進するネットワーク」改め「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」への参加

「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業について情報を得る。

8 当会の中長期的活動の計画と推進

当会のこれからの課題について検討し、今後の計画をたて、取り組めるところから随時活動を開始する。

《試行事業》

1 当会事業

(1) 応募があった会員のアールブリュット作品を基に2024年カレンダーを作成する。

会員等への送付はサポート協会を通して行っていただくため、各サポート協会に送料として最高5万円まで助成する。

(2) 会員向けに無料の予約制による法律及び税務・年金相談を実施する。

(3) 会員向けの無料オンライン研修事業を実施する。

2 就労支援事業

2020年度より弁護士の委託事業を就労支援事業の1つとしており、7(6)ブロックのサポート協会から当会に弁護士紹介依頼があった場合、各ブロックの弁護士を紹介する。

【2023年度会議予定表】

期日	会議名	場所
4月4日(火)	監査	全国サポート協会 事務所
4月5日(水)	第1回三役会	第二つつじが丘学園
4月24日(月)	第1回理事会	大田区産業プラザ 特別会議室
5月30日(火)	定期社員総会	大田区産業プラザ コンベンションホール
7月20日(木)	拡大 MVP 委員会	品川区総合区民会館 (きゅりあん)
	第2回三役会	イベントホール AB 面
10月3日(火)	東北ブロック会議	福島県
10月6日(金)	関東甲越ブロック会議	東京都
10月11日(水)	中国・四国ブロック会議	高知県
10月20日(金)	九州ブロック会議	大分県
11月2日(木)	中部ブロック会議	長野県
11月22日(水)	北海道ブロック会議	北海道 (札幌市)
11月30日(木)	近畿ブロック会議	滋賀県
12月	MVP 委員会	全国サポート協会 事務所
	第3回三役会	全国サポート協会 事務所
2024年		
2月初旬	第4回三役会	全国サポート協会 事務所
3月5日(火)	第2回理事会	大田区産業プラザ 特別会議室

2023年度収支予算 ー運営の部ー

2023年4月1日から2024年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	2022年度予算額	2023年度 予算額	2022年度予算・ 2023年度予算 増減	摘要
運営費収入		31,790,100	31,509,400	△ 280,700	
	入会金	930,000	15,000	△ 915,000	300円×50人=15,000
	年会費	30,860,100	31,494,400	634,300	200円×156,944=31,388,800 100円×1,056人= 105,600 計31,494,400円
雑収入	雑収入	1,000	1,000	0	利息
収入合計		31,791,100	31,510,400	△ 280,700	

支出

大科目	中科目	2022年度予算額	2023年度 予算額	2022年度予算・ 2023年度予算 増減	摘要
事業費		16,753,000	18,168,000	1,415,000	
	入会金返金	3,000	3,000	0	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	20,000	20,000	0	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事業助成	2,620,000	2,310,000	△ 310,000	サポート協会主催事業助成・新規広報紙作成助成
	組織強化費	540,000	335,000	△ 205,000	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	2,900,000	3,000,000	100,000	広告掲載、HP維持等
	研修費	0	100,000	100,000	研修会講師謝礼
	ブロック助成金	1,000,000	1,500,000	500,000	ブロック活動費助成金(7ブロック)
	MVP委員会	1,000,000	1,000,000	0	委員会旅費等
	就労支援	600,000	600,000	0	ブロック弁護士委託費用
	当会事業費	4,000,000	5,600,000	1,600,000	カンパニー作成費・送料・箱代・発送助成金 ワライ研修会 相談事業
	広報紙発送助成	2,660,000	2,700,000	40,000	広報紙発送費用助成
	支払手数料	1,410,000	1,000,000	△ 410,000	振込手数料等
管理費		21,218,000	21,499,000	281,000	
	人件費	5,419,000	5,523,000	104,000	職員2名分、事務局長社会保険手当 通勤手当
	法定福利費	510,000	555,000	45,000	社会保険料等
	福利厚生費	160,000	160,000	0	購読料、健康診断等
	総会費	2,700,000	2,700,000	0	総会(交通費1名分、会場費)等
	会議費	3,000,000	3,000,000	0	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0	ブロック会議等
	賃借料	3,586,000	3,355,000	△ 231,000	家賃 保証会社更新料 他
	水道光熱費	120,000	144,000	24,000	水道、電気料
	通信運搬費	330,000	422,000	92,000	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	17,000	0	△ 17,000	テナント保険料
	リース料	460,000	460,000	0	事務機器など
	印刷製本費	1,286,000	1,550,000	264,000	広報紙作成費用等
	消耗品費	600,000	600,000	0	複合機使用料、イストレーダ/ZOOM年間更新費、事務用品費等
	会員管理費	410,000	410,000	0	会員管理費、AIGFへの送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	110,000	110,000	0	法人税・法務局変更登記申請手数料
	渉外費	100,000	100,000	0	慶弔・贈答品等
	引当金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑費	10,000	10,000	0	雑費
予備費	(繰越金より支出)	5,000,000	1,000,000	△ 4,000,000	
	義援金	5,000,000	1,000,000	△ 4,000,000	災害義援金など
支出合計		42,971,000	40,667,000	△ 2,304,000	
収支差額(収入-支出)		△ 11,179,900	△ 9,156,600	2,023,300	
合計		31,791,100	31,510,400	△ 280,700	

繰越金

大科目	中科目	2022年度予算額	2023年度 予算額	2022年度予算・ 2023年度予算 増減	摘要
繰越金	前期繰越金	13,935,628	12,198,349	△ 1,737,279	前年度繰越金
収支差額	(収入-支出)	△ 11,179,900	△ 9,156,600	2,023,300	赤字(理由摘要に記載)
繰越金		2,755,728	3,041,749	286,021	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2023年度収支予算 ー保険料の部ー

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2022年度予算額	2023年度予算額	増 減	摘 要
					2023年度会員目標 158,000 人 会員数は前年度月別比で算定し、保険料に乗算
					プランA
					4月 17,000 円 × 79,174 人 = 1,345,958,000
					5月 15,060 円 × 186 人 = 2,801,160
					6月 13,710 円 × 288 人 = 3,948,480
					7月 12,330 円 × 154 人 = 1,898,820
					8月 10,950 円 × 112 人 = 1,226,400
					9月 9,590 円 × 82 人 = 786,380
					10月 8,240 円 × 108 人 = 889,920
					11月 6,860 円 × 87 人 = 596,820
					12月 5,480 円 × 67 人 = 367,160
					1月 4,120 円 × 64 人 = 263,680
					2月 2,750 円 × 52 人 = 143,000
					合計 80,374 人 1,358,879,820
					プランB
					4月 22,720 円 × 61,711 人 = 1,402,073,920
					5月 20,160 円 × 211 人 = 4,253,760
					6月 18,350 円 × 319 人 = 5,266,690
					7月 16,510 円 × 151 人 = 2,212,150
					8月 14,650 円 × 107 人 = 1,371,740
					9月 12,820 円 × 103 人 = 1,134,030
					10月 11,010 円 × 117 人 = 1,072,890
					11月 9,170 円 × 99 人 = 726,660
					12月 7,340 円 × 93 人 = 513,360
					1月 5,520 円 × 89 人 = 325,740
					2月 3,660 円 × 86 人 = 314,760
					合計 63,086 人 1,419,265,700
					プランC
					4月 19,510 円 × 13,654 人 = 266,389,540
					5月 17,480 円 × 160 人 = 2,796,800
					6月 15,900 円 × 362 人 = 5,180,220
					7月 14,310 円 × 71 人 = 902,410
					8月 12,710 円 × 59 人 = 656,670
					9月 11,130 円 × 40 人 = 381,600
					10月 9,540 円 × 48 人 = 381,600
					11月 7,950 円 × 36 人 = 228,960
					12月 6,360 円 × 36 人 = 172,080
					1月 4,780 円 × 47 人 = 148,990
					2月 3,170 円 × 27 人 = 85,590
					合計 14,540 人 277,324,460
収 入	保 険 料	2,965,920,810	3,055,469,980	89,549,170	
支 出	保 険 料	2,965,920,810	3,055,469,980	89,549,170	同 上